

学年「単元名」	第1学年「職場体験の内容を報告する」A話すこと・聞くこと
本時のねらい	報告の練習をお互いに見たり聞いたりする活動を通して、報告する内容が相手に伝わるように表現を工夫することができる。

【授業場面・・・報告の練習の時間、報告の様子を記録し、互いに評価し合う】

教師の働きかけ ・ 発問等	生徒の活動 ・ 発言 ○活動
【これまでの学習内容と準備物】 ・ 構成メモをもとに、発表の読み原稿は完成している。 ・ 話すことの評価の観点は学習済みである。（観点表は生徒に配布済み） ・ 報告スピーチに必要な補助的な資料やアイテムは、本日持参することとなっている。	
1 2人一組になり、報告の練習の様子をタブレット端末で録画させる。 ・ 今日、職場体験の報告会の練習をします。次の参観日で、おうちの方はもちろん、事業者の方にも来ていただいて、学習の成果を伝える場とします。	○練習後、各自タブレット端末で報告の練習の様子を録画する。 A: この5日間の体験で、私は二つの大切なことを学ぶことができました。まず、一つ目はパン作りをしているときはいつでもお客様の笑顔を思い浮かべながら作業をすることです。パンを作って終わりではなく、買ってくれる人のことを考えるからこそ、それがやりがいにつながり、よりおいしいパンを作ろうという気持ちになるのだと思いました。二つ目は人とのつながりです。会社には幅広い年齢の人たちがいて、その方たちと協力し合いながら仕事をしています。コミュニケーションを取ることで、仕事が効率よく進んだり、アイデアが浮かんだり、大変な作業も協力して取り組むことができるそうです。 B: 郵便局の仕事はけっこう大変でした。切手1枚売るにしても、機械に打ち込んで常に会計などを出さなくてはなりません。とても面倒な仕事がたくさんありました。一日目、二日目は全然うまくできなかったけど、三日目できるようになりました。そのときの達成感は、面倒だった分、何物にも代え難いものでした。職場体験で学んだことの中で大事だと思ったことは達成感と感謝の気持ちです。難しい仕事をやりきった後に来る達成感を心から喜び、感謝できることは幸せなことだと思います。この体験ができたことに心から感謝しています。 C: 私は職場体験でたくさんことを学びました。それは、「挨拶」「言葉遣い」「身だしなみ」の三つが働く上で最低限必要だということです。そして、自分の仕事ぶりが少しでも認められた時、めっちゃ嬉しくなるということです。働いていく上で知っておかないといけないマナー、働いて楽しいこと、つらいこと、働くことの責任、身近な人への感謝など、仕事は大変なことも嬉しいこともあるけれど、自分の生き方を考えるいい機会になったと思いました。
・ 練習が終わったら、パートナーのスピーチを録画してください。 ・ 録画がうまくできないペアは、操作方法を先生に確認してください。 ・ この時間は報告する内容が相手により伝わるようにアドバイスし合い、スピーチをレベルアップさせるための時間です。録画の本番は次の時間に行います。	

2 録画した動画を見合い、ペアで報告の発表のよい点や改善点を伝え合う。 ・録画をしたそれぞれの発表を見て、よかった点や改善点を出し合い、報告のどこをどう修正するか、話し合って明らかにしましょう。	○動画を共有し、グループ員の報告の良い点や改善点を話し合う。 ・Aさんはナンバリングしていて分かりやすかった。
3 検証する。 ・それでは、話合いで出た意見を参考に、自分の報告の改善点をはっきりさせましょう。 ・観点表に改善点を書き込みましょう。 4 報告発表に向けて練習させる。 ・それでは、次回の録画に向けて、伝え方に注意しながら練習しましょう。 ・家庭等でも練習してもよいことを伝える。	○映像と見比べて指摘があっているかを検証し、必要に応じて修正する。 ・確かに、事例の順番を入れ替えたほうが聞く人に伝わる。順番を替えて練習しよう。 ・下ばかり見ている、声が聞き取りづらい。もう少し顔を上げて、声量を増やして伝えてみよう。 ○ペアで再度録画を試みる。 ・まだ、時間があるから、△△に気を付けてもう一度やろう。 ・緊張して早くなってしまったから、もう少しゆっくり話そう。